

「平成 2 1 年 青森県の人口」について

1 人口の動向について

平成 21 年 10 月 1 日現在の本県推計人口は 1,382,517 人で、前年に比べ 12,289 人（0.88%）の減少となった。

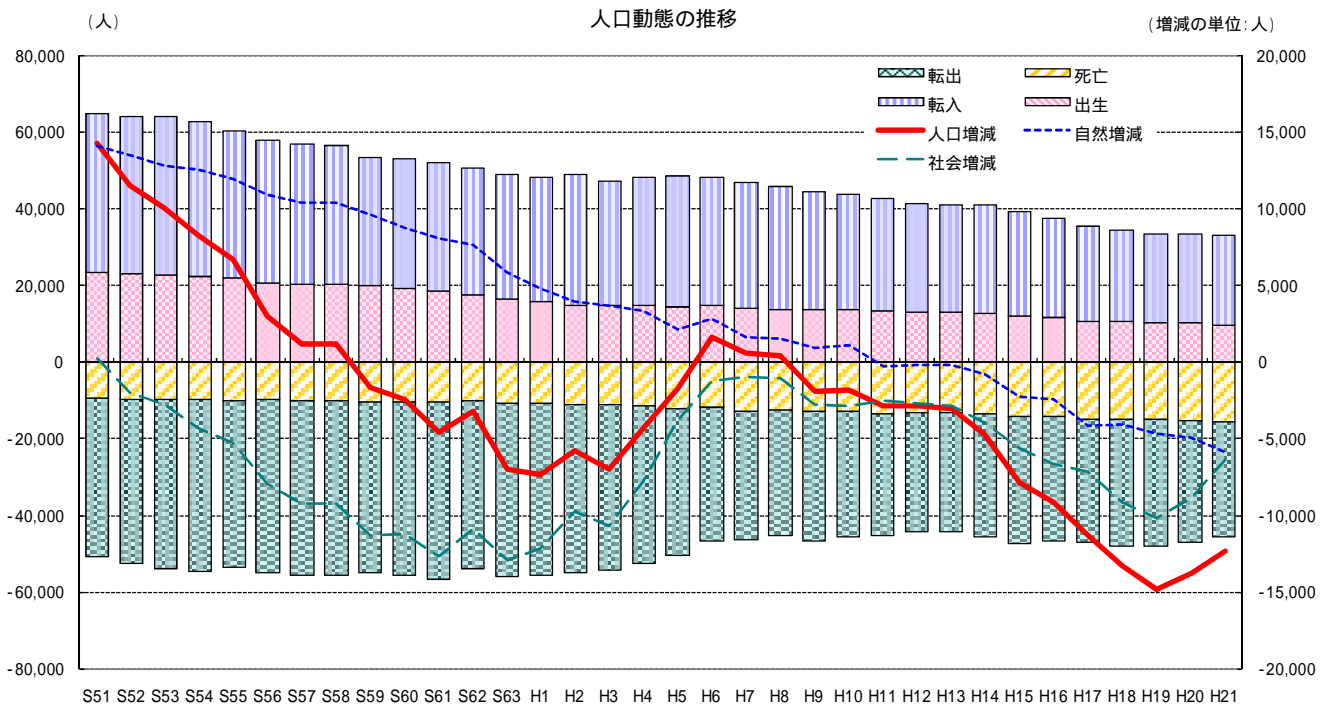
平成 20 年 10 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日までの自然動態は、出生者数が 9,633 人、死亡者数が 15,500 人で、自然増減数は 5,867 人（0.42%）の減少となった。

また、平成 20 年 10 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日までの社会動態は、転入者数が 23,483 人、転出者数が 29,905 人で、社会増減数は 6,422 人（0.46%）の減少となった。

(単位:人、%)

年次	人口	人口 増減数	人口 増減率	自然 増減数	自然 増減率	出生者数	死亡者数	社会 増減数	社会 増減率	転入者数	転出者数
平成 17 年	1,436,657										
18	1,423,412	-13,245	-0.92%	-4,099	-0.29%	10,603	14,702	-9,146	-0.64%	23,912	33,058
19	1,408,589	-14,823	-1.04%	-4,650	-0.33%	10,203	14,853	-10,173	-0.71%	23,011	33,184
20	1,394,806	-13,783	-0.98%	-4,921	-0.35%	10,328	15,249	-8,862	-0.63%	22,895	31,757
21	1,382,517	-12,289	-0.88%	-5,867	-0.42%	9,633	15,500	-6,422	-0.46%	23,483	29,905

注:人口は10月1日現在。平成17年の人口は、国勢調査結果。



2 年齢別推計人口について

年少人口（0歳から14歳）は、前年に比べ5,398人減の178,828人となり、構成比は12.9%（平成17年国勢調査13.8%）となった。

生産年齢人口（15歳から64歳）は前年に比べ12,312人減の852,035人となり、構成比は61.6%（平成17年国勢調査63.4%）となった。

老年人口（65歳以上）は前年に比べ5,421人増の351,374人となり、構成比は25.4%（平成17年国勢調査22.7%）となった。

年齢(3区分)別人口の推移

(単位:人、%)

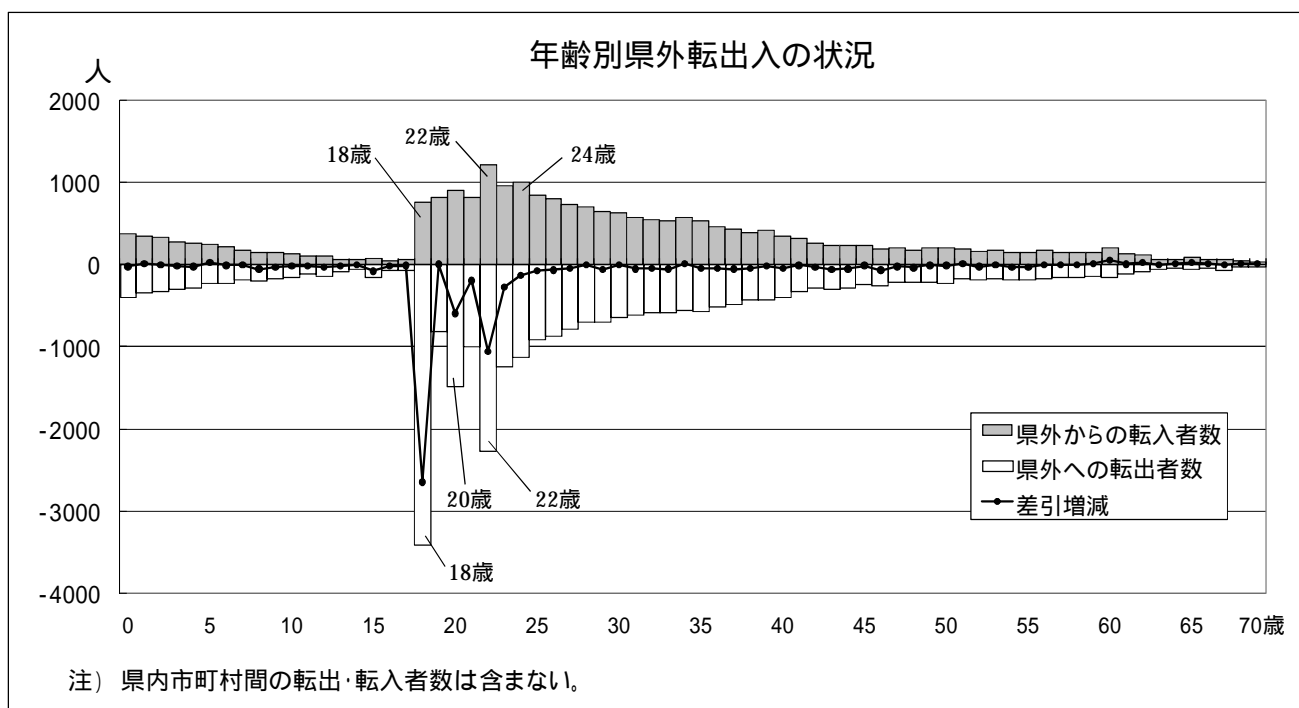
年次	総人口	構成比					
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成17年	1,436,657	198,959	910,856	326,562	13.8	63.4	22.7
18	1,423,412	194,018	896,042	333,072	13.6	63.0	23.4
19	1,408,589	188,669	879,629	340,011	13.4	62.4	24.1
20	1,394,806	184,226	864,347	345,953	13.2	62.0	24.8
21	1,382,517	178,828	852,035	351,374	12.9	61.6	25.4

(注) 総人口には、年齢不詳を含んでいる。

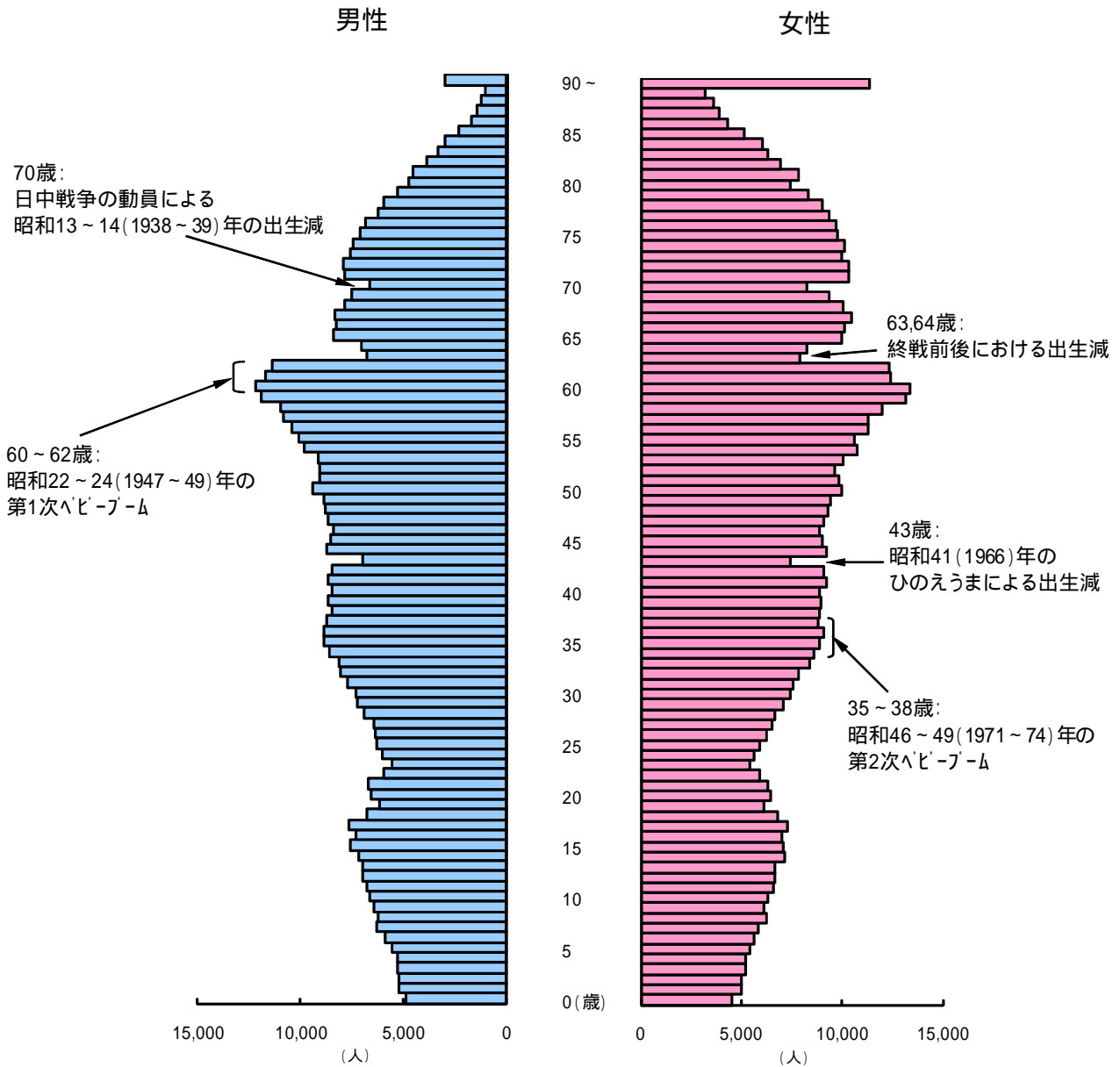
3 年齢別県外転出入の状況について

各年齢別に県外からの転入者数をみると、18歳から増加し、22歳がピークとなり、24歳以降は年齢が高くなるにつれて少なくなっている。

一方、県外への転出者数は、18歳が最も多く、次に22歳、20歳と続き、22歳を超えると年齢が高くなるにつれて少なくなっている。



青森県の人口ピラミッド(平成21年10月1日現在)



(注1) 90歳以上人口は、まとめて90歳以上とし、年齢不詳を除いた。

(注2) 上記年齢別推計人口は、平成17年国勢調査人口を基礎に推計している。